

サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	学校教育部 (教育施設課・教育総務課)	
2 協議事項 (案件名)	学校施設の規模適正化及び新たな学校施設整備計画について	
3 背景・現状 (現状把握で きる統計数 値など)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設は、市が所有する公共施設の約4割を占め、令和6年度末には、約7割が老朽化(築40年以上経過) ・年少人口は、2020-2040年(40年間)で4割減少見込み ⇒ 学校規模への影響 ・一方、発達障害・外国人・不登校など、支援を必要とする子供は増加傾向 ⇒ 発達支援学級・教室、まなびの教室などの拡充 ・安全・安心を確保しつつ、新しい時代の学びを実現する教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備の推進(国:第4期教育振興基本計画) ⇒ ICT活用、インクルーシブ教育、バリアフリー化等 	
4 検討経過・ 課題	<p>【検討経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021～2022年度 学校施設劣化調査 ・2022年度 新たな学校施設整備の基本的な考え方(骨子)取りまとめ ・2022～2023年度 更新費用検証、整備順序(案)取りまとめ <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校規模適正化に係る保護者、地域住民との意見交換・調整 ・新たな学校施設のあり方、整備方法、実施フロー・スケジュール等 	
5-1 方向性の 提案(目指 すべき姿)	施設老朽化・教育環境向上・その他諸課題に一体的に対応した新たな学校施設整備標準を策定、長期的な社会・経済状況、地域事情等を考慮し、将来の財政状況を見据えた、効率的・効果的な施設整備を実施	
5-2 上記の方 向性決定 に向け議 論する事 項(妥当性、 必要性、有効 性など)	<ul style="list-style-type: none"> ・規模適正化の進め方について(実施フローについて) ・効率的・効果的な整施設備について(整備の進め方、複合化・共有化、多目的利用、多機能利用等) ・学校施設整備標準について(専用部分・共同部分の設定等) ・実施スケジュールについて(時期・校数) ・費用試算について ・その他 今後10年間の具体例(想定)、民間施設利活用、維持管理の民間委託等	
6 結果	<ul style="list-style-type: none"> ■提案どおり進める <input type="checkbox"/>提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/>再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/>その他 	具体的内容
7 その他		